第５３回　廃棄物対策専門委員会　議事要旨

日時：2025 年 5 月 23 日（金）11：00～15：30
場所：オンライン開催

1．固体廃棄物の処理・処分に関する研究開発の進捗状況について
　NDF 事務局から、「性状把握」、「保管・管理」および「処理技術（その 1）」についての固体廃棄物の処理・処分に関する研究開発の進捗状況を説明した。

　専門委員からの主な意見は以下のとおり。

○ C-14 の放射能濃度測定において加速器質量分析装置（AMS）を利用していくことが考えられるが、AMS は測定時間が長いため、β線測定等の他の方法と組合わせてうまく進めてほしい。

○ 金属廃棄物の溶融除染について、インベントリ評価のための知見が着実に蓄積されているが、評価対象核種の選定方法に関してはクリアランス審査基準における方法との違いを明確にすべきである。溶融時の元素の移行は鉄鋼業界で長い歴史をかけて詳細に調査されているため、その知見を取り入れながら進めるとよい。

○ 固化体の浸出試験では、浸出面の違いだけでなく、試料の成型の仕方などが結果に影響していることも考えられる。試験結果を多角的に評価するとよい。

○ 低温実規模処理の適用性を評価していく上では、廃棄体に求められる性能と処理方法との関係性を整理しながら検討を進めたほうがよい。

2．その他
　次回廃棄物対策専門委員会について。

以　上